

令和 5 年 9 月 27 日
東京都信用農業協同組合連合会

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

当会は、中道リース株式会社（代表取締役社長：関崇博、以下「中道リース」）に対するシンジケーション方式のサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）に参加いたしましたので、お知らせします。

SLL は、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」（以下「SLLP」）及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」（以下「環境省ガイドライン」）に基づき、借入人のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケーター（以下「KPI」）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、SPT の達成状況と融資条件を連動させるインセンティブを付けることで、借入人及び社会の持続可能な成長を企図する融資メニューです。

中道リースは、「中道リース Vision2030 地域・社会に元気と価値ある変化を届けます～あなたと目指すサステナビリティ～」からバックキャストした重要課題（マテリアリティ）として、「脱炭素・省エネの推進」・「持続可能な地域への貢献」等を掲げており、様々な取組を実施しております。

本件では、当該マテリアリティに対応する非財務 KPI として、「芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムの適用契約社数」を選定し、SPT を設定しました。

■芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム

芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムとは、「2050 年までに温室効果ガス又は二酸化炭素の排出実質ゼロ」を目指すゼロカーボンシティ施策を後押しする目的で芙蓉リースグループが設立した寄付金付き優遇ファイナンスプログラム。

KPI 芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムの適用契約社数

SPT 2023 年度 30 社、次年度以降は前年度目標の 10 社増とすること

なお、本件に関する SLLP、環境省ガイドラインへの適合性については、株式会社格付投資情報センター（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎宏）の第三者意見を取得しております。

当会では、今後も、お客さまの SDGs・ESG への取組みを積極的にサポートし、持続可能な開発目標の実現を目指してまいります。

以上